【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和2年9月10日(2020.9.10)

【公開番号】特開2019-166919(P2019-166919A)
【公開日】令和1年10月3日(2019.10.3)
【年通号数】公開・登録公報2019-040
【出願番号】特願2018-55000(P2018-55000)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｈ　1/08　(2006.01)
Ｆ１６Ｌ　3/04　(2006.01)
Ｆ１６Ｌ　3/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｈ　1/08　６１１Ｃ
Ｆ１６Ｌ　3/04
Ｆ１６Ｌ　3/08　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和2年8月3日(2020.8.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
空気と熱媒体とを熱交換させる熱交換器（１１）を収容するケース（１０ｅ）と、
前記ケースが配置された対象室（２）と機械室（３）とを仕切る隔壁部（４）から前記熱交換器に向けて延びており、前記熱交換器に熱媒体を供給する端部管（１２ｃ、１２ｄ）と、
前記隔壁部に面するように位置付けられ、前記端部管が位置付けられる台座部（２０）と、
前記台座部に装着されており、前記台座部と前記隔壁部との間に位置付けられるシール部材（１６）と、
前記端部管を支持するホルダ機構（３０）と、
樹脂材料によって前記ケースと一体的に成形されており、前記ケースから前記隔壁部に向けて延び出すベース部であって、前記台座部の一部分を提供するベース端部（２１）、および、前記ベース端部の背後に位置して前記ホルダ機構として前記端部管を支持するベース凹部（３１、３２）を有するベース部（１４）と、
前記ケースとは別体であり、前記ベース部に連結されるカバー部であって、前記台座部の残部を提供するカバー端部（２２）、および、前記カバー端部の背後に位置して前記ホルダ機構として前記端部管を支持するカバー凹部（３３、３４）を有するカバー部（１５）と、
前記ベース部と前記カバー部とを連結する連結機構（４０）とを備え、
前記ベース部は、前記ケースから前記隔壁部に向けて延び出すベースステー（１４ａ）と、
前記ベースステーの先端に配置されており、前記ベース端部、および、前記ベース凹部を有するベースブロック（１４ｂ）とを備え、
前記カバー部は、前記ケースに連結されたカバーステー（１５ａ）と、
前記カバーステーの先端に配置されており、前記カバー端部、および、前記カバー凹部

を有するカバーブロック（１５ｂ）とを備える配管支持機構付空調装置。
【請求項２】
前記連結機構は、
ねじにより前記ベース凹部と前記カバー凹部とを締め付ける締付機構（４０ａ）と、
樹脂材料の弾性変形を利用して前記ベース部と前記カバー部とを連結する係止機構（５０）とを備える請求項１に記載の配管支持機構付空調装置。
【請求項３】
空気と熱媒体とを熱交換させる熱交換器（１１）を収容するケース（１０ｅ）と、
前記ケースが配置された対象室（２）と機械室（３）とを仕切る隔壁部（４）から前記熱交換器に向けて延びており、前記熱交換器に熱媒体を供給する端部管（１２ｃ、１２ｄ）と、
前記隔壁部に面するように位置付けられ、前記端部管が位置付けられる台座部（２０）と、
前記台座部に装着されており、前記台座部と前記隔壁部との間に位置付けられるシール部材（１６）と、
前記端部管を支持するホルダ機構（３０）と、
樹脂材料によって前記ケースと一体的に成形されており、前記ケースから前記隔壁部に向けて延び出すベース部であって、前記台座部の一部分を提供するベース端部（２１）、および、前記ベース端部の背後に位置して前記ホルダ機構として前記端部管を支持するベース凹部（３１、３２）を有するベース部（１４）と、
前記ケースとは別体であり、前記ベース部に連結されるカバー部であって、前記台座部の残部を提供するカバー端部（２２）、および、前記カバー端部の背後に位置して前記ホルダ機構として前記端部管を支持するカバー凹部（３３、３４）を有するカバー部（１５）と、
前記ベース部と前記カバー部とを連結する連結機構（４０）とを備え、
前記連結機構は、
ねじにより前記ベース凹部と前記カバー凹部とを締め付ける締付機構（４０ａ）と、
樹脂材料の弾性変形を利用して前記ベース部と前記カバー部とを連結する係止機構（５０）とを備える配管支持機構付空調装置。
【請求項４】
複数の前記端部管は、２つの端部管を含み、
前記締付機構は、２つの前記端部管の間に位置付けられており、
前記係止機構は、２つの前記端部管の両側において前記ベース部と前記カバー部とを連結している請求項２または請求項３に記載の配管支持機構付空調装置。
【請求項５】
前記締付機構は、スクリュー（４１、４４）と、前記カバー部に設けられた貫通穴（４２、４５）と、前記ベース凹部または前記ケースに設けられた雌ねじ穴（４３、４６）とを含み、
前記係止機構は、爪およびフックを含むスナップフィット機構である請求項２から請求項４のいずれかに記載の配管支持機構付空調装置。
【請求項６】
さらに、前記連結機構は、ねじにより前記カバー部と前記ケースとを締め付ける締付機構（４０ｂ）を備える請求項２から請求項５のいずれかに記載の配管支持機構付空調装置。
【請求項７】
前記ベース凹部または前記カバー凹部は、前記端部管に接触する接触片（３３ａ、３４ａ）を有する請求項１から請求項６のいずれかに記載の配管支持機構付空調装置。
【請求項８】
前記ベース端部および前記カバー端部は、前記隔壁部と平行に広がっており、
前記ホルダ機構は、前記ベース端部および前記カバー端部の背後に、前記ベース端部お

よび前記カバー端部と平行に広がっている請求項１から請求項７のいずれかに記載の配管支持機構付空調装置。
【請求項９】
前記台座部と、前記ホルダ機構とは、前記端部管の延在方向に沿って隣接して配置されている請求項１から請求項８のいずれかに記載の配管支持機構付空調装置。
【請求項１０】
前記端部管は、前記ベース端部と前記カバー端部との境界に沿って配置された複数の端部管を含み、
前記ベース凹部および前記カバー凹部のそれぞれは、複数の前記端部管のそれぞれを支持する複数の凹部を有する請求項１から請求項９のいずれかに記載の配管支持機構付空調装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
ここに開示された第１発明の配管支持機構付空調装置は、空気と熱媒体とを熱交換させる熱交換器（１１）を収容するケース（１０ｅ）と、ケースが配置された対象室（２）と機械室（３）とを仕切る隔壁部（４）から熱交換器に向けて延びており、熱交換器に熱媒体を供給する端部管（１２ｃ、１２ｄ）と、隔壁部に面するように位置付けられ、端部管が位置付けられる台座部（２０）と、台座部に装着されており、台座部と隔壁部との間に位置付けられるシール部材（１６）と、端部管を支持するホルダ機構（３０）と、樹脂材料によってケースと一体的に成形されており、ケースから隔壁部に向けて延び出すベース部であって、台座部の一部分を提供するベース端部（２１）、および、ベース端部の背後に位置してホルダ機構として端部管を支持するベース凹部（３１、３２）を有するベース部（１４）と、ケースとは別体であり、ベース部に連結されるカバー部であって、台座部の残部を提供するカバー端部（２２）、および、カバー端部の背後に位置してホルダ機構として端部管を支持するカバー凹部（３３、３４）を有するカバー部（１５）と、ベース部とカバー部とを連結する連結機構（４０）とを備え、ベース部は、ケースから隔壁部に向けて延び出すベースステー（１４ａ）と、ベースステーの先端に配置されており、ベース端部、および、ベース凹部を有するベースブロック（１４ｂ）とを備え、カバー部は、ケースに連結されたカバーステー（１５ａ）と、カバーステーの先端に配置されており、カバー端部、および、カバー凹部を有するカバーブロック（１５ｂ）とを備える。
ここに開示された第２発明の配管支持機構付空調装置は、空気と熱媒体とを熱交換させる熱交換器（１１）を収容するケース（１０ｅ）と、ケースが配置された対象室（２）と機械室（３）とを仕切る隔壁部（４）から熱交換器に向けて延びており、熱交換器に熱媒体を供給する端部管（１２ｃ、１２ｄ）と、隔壁部に面するように位置付けられ、端部管が位置付けられる台座部（２０）と、台座部に装着されており、台座部と隔壁部との間に位置付けられるシール部材（１６）と、端部管を支持するホルダ機構（３０）と、樹脂材料によってケースと一体的に成形されており、ケースから隔壁部に向けて延び出すベース部であって、台座部の一部分を提供するベース端部（２１）、および、ベース端部の背後に位置してホルダ機構として端部管を支持するベース凹部（３１、３２）を有するベース部（１４）と、ケースとは別体であり、ベース部に連結されるカバー部であって、台座部の残部を提供するカバー端部（２２）、および、カバー端部の背後に位置してホルダ機構として端部管を支持するカバー凹部（３３、３４）を有するカバー部（１５）と、ベース部とカバー部とを連結する連結機構（４０）とを備え、連結機構は、ねじによりベース凹部とカバー凹部とを締め付ける締付機構（４０ａ）と、樹脂材料の弾性変形を利用してベース部とカバー部とを連結する係止機構（５０）とを備える。